

～ 無機質について ～

様々な無機質がありますが、生きていくうえで重要な役割をしています。それぞれの濃度を一定に保って心臓や骨、脳などの働きに大きく関与しています。

○血清鉄(Fe)

鉄分はヘモグロビンの原料であり、血液中の酸素や二酸化炭素の運搬に関係しています。

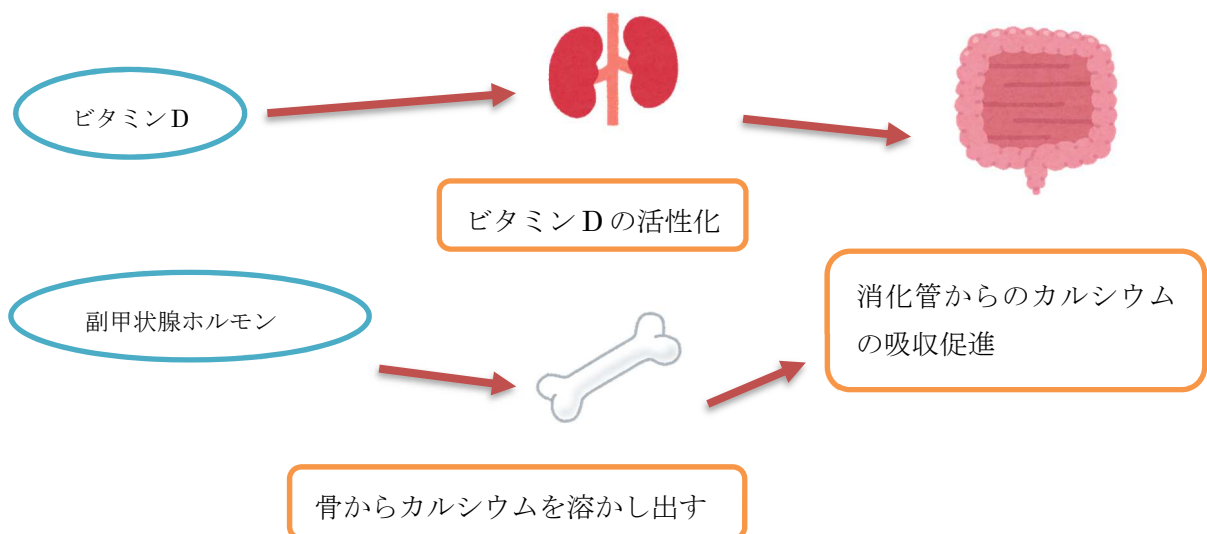
血清鉄とは血清中に含まれる鉄分のことです。不足すると貧血を起こします。血清鉄の測定により、貧血の種類を把握することができます。



○カルシウム(Ca)

カルシウムは人体において最も多く存在するミネラルです。大半はリン酸カルシウムとして骨・歯などに貯蔵され、血中に存在するものはイオン化カルシウムとして神経の興奮や筋肉の収縮、血液の凝固、酵素の働き補助などに関わっています。

血液中のカルシウム値は、ビタミンDや副甲状腺ホルモンの影響を受けます。



○無機リン(P)

リンはおよそ 8 割が無機リンとして骨に存在し、大部分がカルシウムと結合しています。無機リンはカルシウムと同様、骨の重要な構成成分です。残りは有機リンとしてリン脂質や化合物として存在します。血液検査では無機リンを測定し、内分泌や骨の代謝異常を判断する目安としています。